

## 「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰【功労者】

個人推薦書		活動拠点（都市名）		上富田町			
被推薦者・団体	ふりがな	とうこう あきお		活動開始年	2004年		
	氏名・団体名	東光 昭勇		通算	19年間		
団体代表者	ふりがな			団体の規模 人数の内訳等	名		
	氏名						
	役職						
活動の分野 (4つまで選択可)	1	2	3	主な参加者 (障害種別)	知的障害、肢体不自由  25名/回		
	学習						
	(その他)						
活動に当たって連携している機関・団体等（8つまで選択可）							
1	2	3	4	5	6	7	8
特別支援学校	行政（教育委員会）						
(その他)							
活動概要	・19年間にわたって、障害のあるこどもの乗馬体験及びえさやり等の馬とのふれあい活動に取り組んだ。また、乗馬用の馬の貸出とともに、児童生徒が安全に乗馬体験できるよう、当日に向けて、馬やポニーのコンディションを整えるとともに、乗馬やえさやり体験の運営及びこどもへの支援を行った。						
過去の取組実績表彰等	・平成28年12月、和歌山県「紀の国チャレンジド・サポート感謝状（更生援護功労者）」受賞。						
推薦理由（対象・活動履歴・実績・特徴・活動の効果等）							
<p>東光氏は、障害のあるこどもや乗馬体験に係る取組の意義に理解があり、平成8年頃より、特別支援学校関係者の協力要請に応じ、馬やポニーとふれあう活動に取り組んできた。平成16年から令和5年まで、19年間にわたり、県立南紀はまゆう支援学校の乗馬体験・馬とのふれあい活動に協力し、児童生徒が安全に取り組めるよう、馬の飼養管理や健康管理を行い、馬やポニーのコンディションを整えるとともに、こどもたちのそばで手をとって体験活動を支えるなど、活動の継続に熱意をもって取り組んできた。</p> <p>・馬とふれあったり、背中に乗ったりする「乗馬体験活動」は、児童生徒が経験したことのない高い視野やスピード感を得ることができるとともに、豊かな情操をはぐくむ貴重な機会である。県立南紀はまゆう支援学校（はまゆう支援学校・南紀支援学校が令和5年に統合）で実践した乗馬体験活動は、特別支援学校に通う障害のあるこどもたちが休業日を有意義に過ごすことのできる絶好の活動の機会となるとともに、繰り返し参加を希望するなど、乗馬体験を楽しみにする参加者が多い。</p>							
推薦自治体・団体名	和歌山県教育委員会						
事務担当者	所属	和歌山県教育庁生涯学習局生涯学習課					
	役職	副主査	氏名	楠川 愛			
	TEL	073-441-3720	E-mail	<a href="mailto:kusukawa_m0003@pref.wakayama.lg.jp">kusukawa_m0003@pref.wakayama.lg.jp</a>			

※入力内容に関して、問い合わせさせていただく場合がございます。

## 活動の実践内容等（生涯学習支援活動の内容や成果について記載してください。）

活動名称	障害のあるこどもの乗馬体験及びふれあい体験活動
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成16年より、乗馬体験及びふれあい体験活動を開始し、毎回25名程度の児童生徒とその家族が参加。</li> <li>三栖幼稚園の園庭を会場にして、活動を行った。乗馬体験では、馬の背にこどもを乗せて、園庭を1～2周し、その後、えさやり体験を実施した。</li> <li>乗馬体験は年間3～5回程度実施し、障害のある児童生徒が馬に慣れ、親しみがもてるようにした。</li> </ul>
活動の経緯 推進体制等	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成8年頃より、乗馬体験としてポニーや馬を使ったアクティビティーに協力、平成12年6月より3年間、和歌山県アニマルセラピーモデル事業として県立はまゆう養護学校の運動場で、馬とふれあう授業外活動を行った。</li> <li>平成16年より、休業日の障害のあるこどもの居場所として「いきいき交流教室」が始まったのを機に、三栖幼稚園の園庭を会場にして、乗馬体験活動を開始した。その後、昨年度に至る19年間継続して乗馬体験活動を実施した。</li> </ul>
活動の成果 普及状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の県立南紀はまゆう支援学校の前身となるはまゆう養護学校（知的障害、聴覚障害）の児童生徒のみならず南紀養護学校（肢体不自由）の児童生徒に対する支援を積極的に行い、他地域での乗馬体験及びふれあい体験活動にも影響を与えた。</li> <li>参加者は、乗馬体験を楽しみにしており、繰り返し参加するこどもや家族が多い。また、乗馬体験活動は、乗馬によりバランス感覚が養われるとともに、馬とのふれあいをとおして情緒の安定が図られる。継続して取り組むことで、こどもたちは馬に慣れ、親しむことができる活動となっている。</li> </ul>
活動の工夫 （障害のある参加者等との意思疎通に関する工夫など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもたちは、乗馬体験やえさやりなど動物とふれあう体験をとおして、感動したり、驚いたり、発見したりするなど、普段の学校生活や家庭生活で体験できないことを経験することができた。</li> <li>知的障害のあるこどもが安心して参加できるように、こどもに応じて乗馬時間を調整したり、こどものペースでふれあえるように調整した。また、肢体不自由があり、座位の取りにくいこどもが体験しやすいように、座り方や姿勢のとり方など、支援方法を工夫した。</li> </ul>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害のあるこどもの居場所としての「いきいき交流教室」は令和5年度末に終了したが、今後も学校の要請に応じて、乗馬体験や馬とのふれあい活動など、こどもたちの心身の発達や豊かな情操をはぐくむ活動に取り組んでいきたいとの考えである。</li> </ul>
活動紹介に関する情報（HP・SNS等）	
備考	

※提出前に再度、御確認ください。

- ・オレンジ色のセルに必要事項を入力すると白色になりますが、すべて白くなる必要はありません。
- ・推薦に当たっては、「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰要項を十分に御確認ください。
- ・推薦書作成に当たっては、＜参考資料＞推薦についても御確認ください。

【問合せ先：文部科学省総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 障害者学習支援推進室】